

2022年4月20日
日本原燃株式会社

「柏崎刈羽原子力発電所1号機の非常用ディーゼル発電機(B)過給機軸固着事象」に対する水平展開「過給機タービンブレードのレーシングワイヤ孔位置測定」の実施時期の変更について

1. はじめに

「柏崎刈羽原子力発電所1号機の非常用ディーゼル発電機(B)過給機軸固着事象」に対する水平展開「過給機タービンブレードのレーシングワイヤ孔位置測定」(以下、「位置測定」という)の対象となる再処理工場 第1非常用ディーゼル発電機(A号機、B号機)については、点検計画に基づく分解点検に合わせ、2023年度および2024年度に位置測定を実施する計画であることを、2021年6月15日の面談にてご説明した。

本面談で、「水平展開となる位置測定については、再処理工場のしゅん工前までに実施できるよう検討すること」とのコメントをいただいております。検討の結果、実施時期が以下のとおり確定しました。

2. 実施時期の変更

第1非常用ディーゼル発電機(A号機、B号機)の位置測定の実施時期を2023年度および2024年度からしゅん工前の2022年度上期に変更する。

また、ウラン濃縮工場の非常用ディーゼル発電機(A号機)についても、操業再開前に位置測定を実施することとし、2023年度から2022年度上期に実施時期を変更する(下表参照)。

柏崎刈羽原子力発電所1号機非常用ディーゼル発電機と
同一メーカー製非常用ディーゼル発電機における位置測定の実施計画

No.	対象D/G	2022年度				2023年度	2024年度	備考
		1Q	2Q	3Q	4Q			
1	再処理工場 第1非常用ディーゼル発電機A		○	←		○		しゅん工前の実施に変更
2	再処理工場 第1非常用ディーゼル発電機B		○	←			○	しゅん工前の実施に変更
3	ウラン濃縮工場 非常用ディーゼル発電機A	○	←			○		操業再開前の実施に変更
4	ウラン濃縮工場 非常用ディーゼル発電機B	○	○					第1四半期の実施に変更

以上